

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
 会長 渡部 浩士  
 事務局長 佐藤 正行  
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>  
 印刷所 (株) 有伸商会  
 TEL (011)814-6211

## 第32回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第8回 読書感想画全道コンクール

第32回読書感想画中央コンクール・第8回読書感想画全道コンクールの審査が、1月9日(土)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も全道からたくさんの作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

### 最優秀賞



「ぼくとカムイサウルスの北海道」札幌市立ひばりが丘小学校1年  
 『もしも恐竜とくらしたら』WAVE出版 山本新大  
 (山本省三/作 本田隆行/監修)



「命を生み出す太陽」北海道教育大学附属旭川小学校5年  
 『太陽ってどんな星?』新日本出版社 大串雪花  
 (宮原ひろ子/作)



「ケンタウルス、星をからせ」  
 札幌市立あいの里東中学校3年 宮原 毛  
 『新編 銀河鉄道之夜』新潮社 (宮沢賢治/作)



「秘密」 札幌聖心女子学院高等学校3年  
 『Cuori di Carta 紙の心』岩波書店 須藤 みな  
 (エリーザ・プリチェッリ・グエッラ/作 長野 徹/訳)

# 最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

## 《最優秀賞》

※ぼくとカムイサウルの北海道	札幌市立ひばりが丘小学校	1年	山本新大
※命を生み出す太陽	北海道教育大学附属旭川小学校	5年	大串雪花
※ケンタウルス、星をふらせ	札幌市立あいの里東中学校	3年	宮原モモ
※秘密	札幌聖心女子学院高等学校	3年	須藤みな

## 《優秀賞》

※きみ、なにがすき？	函館市立北星小学校	2年	小野太一
※山くん	栗山町立継立小学校	3年	小倉大翔
※あったらいいな！ 私の理想の学校。	釧路市立鳥取小学校	4年	岩田知怜
※別れの瞬間	函館市立石崎小学校	6年	濱利光
※見えなくとも、風になろうとも共に。	札幌市立陵北中学校	2年	横溝柚穂
※Open up the future	札幌市立平岡中学校	3年	岩崎妃那
※蘇生	旭川明成高等学校	2年	中野愛里

## 《優良賞》

楽しそうな生きものたち	栗山町立継立小学校	2年	田中唯愛
おっこちそうなくま	栗山町立継立小学校	2年	小倉凜音
※川でつながった動物たち	札幌市立白楊小学校	3年	猪口誠太
みんなはパーティ ぐりぐらはお昼ね	函館市立石崎小学校	3年	畠山川依
願いをこめて ほうき星	江別市立野幌若葉小学校	4年	在成澤結紀
※勇かなエイミー・アン	登別市立幌別東小学校	5年	成澤雪華
夜桜の中で悲しみをかかえたユニコーン	北海道教育大学附属旭川小学校	5年	大串雪花
人に支えられて、生きている	室蘭市立蘭北小学校	5年	工藤維華
本を開いて	池田町立池田中学校	1年	佐伯六花
※未来へのスタートダッシュ	東川町立東川中学校	2年	高橋橋谷
姿が変わっても	岩見沢市立光陵中学校	2年	熊谷沙弥
思い出す	札幌市立あいの里東中学校	3年	碓小春

## 《学校賞》

- 小学校の部 栗山町立継立小学校 ○ 中学校の部 札幌市立あいの里東中学校
  - 高等学校の部 該当校なし
- ※=全国行き作品

第32回読書感想画中央コンクール・第8回読書感想画全道コンクール【総評】

## 感動を色や形にのせて

札幌市造形教育連盟 事務局長

石垣 あけみ

(札幌市立前田小学校 校長)

今年で8回目を迎えた読書感想画全道コンクールには道内各地の小学校から高校まで、全500点の応募がありました。コロナ禍のもと、出品数が予想以上に多く、うれしい誤算となりました。

審査会場に並べられた作品は力作ばかりで、本コンクールに多くの子どもたちが興味をもち、保護者や学校関係者の皆様の理解と厚い支持があることが分かります。主催する北海道学校図書館協会と毎日新聞社には本事業への熱意ある取組に心より敬意を表します。

審査会では、子どもたちの発達段階を考慮し、3つの部門に分けて選考しましたが、作品に溢れる子どもたちのみずみずしい感性に触れ、私たちは素晴らしい時間を過ごすことができました。

小学校低学年（1～3年）では、読んだお話から好きな場面を膨らませ、思い思いの色や線で楽しく描いた様子が伝わりました。その子の「あのね・・・」というおしゃべりが聞こえてきそうな作品に出会うとこちらまで楽しく見入ってしまいました。

小学校高学年（4～6年）では、多色刷り版画などバラエティに富んでいました。物語の主題をとらえながら、構成や色遣い、形などの組み合わせや表情などで、その子自身が得た感動を私たちに伝えようと表現方法に工夫を加えた作品が多く見られました。

中学校・高等学校では、高い技能に加え、物語をしっかりと読み込んだうえでテーマや自分の思いをどう表現するか、濃密な画面の中に試行錯誤の跡が感じられました。読後の感動から生まれたイメージ、そして描きあげたその作品に自己の内面を見だし、物語の世界にさらに深く引き込まれる姿が感じられました。

審査を通して、どの子にも、どの作品にも「本を読むことが好き」で、心に湧き上がった感動を「表すことが好き」なのだという思いを感じることができました。これからも読書を通じて、感じたことやイメージを色や形で表現する楽しさがより多くの子どもたちに広がっていくことを願っています。

# 奨励賞 受賞者一覧

## 奨励賞(小低)

札幌市本郷小 1年 横山 一太  
 札幌市本郷小 1年 工藤 源土  
 札幌市本郷小 1年 三浦 好未  
 札幌市本郷小 1年 水木 仁美  
 札幌市本郷小 1年 飯塚 花菜  
 札幌市本郷小 1年 水木 聡美  
 札幌市本郷小 1年 富樫 柚月  
 札幌市本郷小 1年 戸澤 凜花  
 札幌市本郷小 1年 大上 綾乃  
 札幌市本郷小 1年 渡辺乃々香  
 札幌市本郷小 1年 松本 楓加  
 札幌市本郷小 1年 鈴木 花奈  
 札幌市本郷小 1年 丸二 なつ  
 札幌市本郷小 1年 羽田野美月  
 札幌市本郷小 1年 長谷川 翼  
 札幌市本郷小 1年 松本 大知  
 札幌市上白石小 1年 神山 美海  
 札幌市上白石小 1年 田中 愛波  
 函館市立石崎小 1年 武井 惺愛  
 比布町中央小 1年 畠山 凜花  
 札幌市上白石小 2年 橋本 千翔  
 札幌市上白石小 2年 佐柳 恵菜  
 札幌市上白石小 2年 大西 慧太  
 札幌市上白石小 2年 小熊 彩花  
 札幌市上白石小 2年 満島 和香  
 札幌市上白石小 2年 中村 洵斗  
 札幌市上白石小 2年 大森 陽詩  
 札幌市上白石小 2年 森山 雫玖  
 札幌市上白石小 2年 森山 柚穂

札幌市上白石小 2年 吉田ひより  
 砂川市空知太小 2年 佐藤 凜  
 砂川市空知太小 2年 佐々木星奈  
 洞爺湖町虻田小 2年 篠原 心恋  
 洞爺湖町虻田小 2年 森 優翔  
 洞爺湖町虻田小 2年 伏見希乃華  
 洞爺湖町虻田小 2年 西原 陽太  
 函館市北星小 2年 生駒 星空  
 函館市北星小 2年 岡本ゆりあ  
 函館市北星小 2年 佐々木妃代  
 函館市北星小 2年 伊藤 咲良  
 札幌市上白石小 3年 武田ありす  
 札幌市上白石小 3年 宮澤 成希  
 札幌市上白石小 3年 畠山 蓮琉  
 札幌市上白石小 3年 金澤 結花  
 札幌市上白石小 3年 後藤 美月  
 栗山町継立小 3年 菅野 葵  
 栗山町継立小 3年 棟棠 詩英  
 赤平市豊里小 3年 中村 杏  
 赤平市豊里小 3年 上中 秋紅

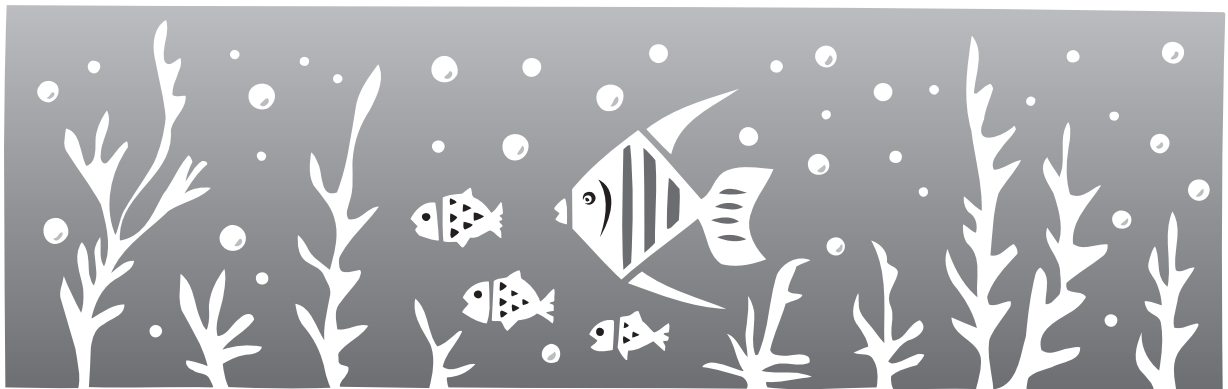
## 奨励賞(小高)

札幌市開成小 4年 南 花緒  
 栗山町継立小 4年 鶴川 理結  
 札幌市上白石小 4年 高橋 柳臣  
 札幌市上白石小 4年 金子 斗望  
 札幌市上白石小 4年 村松 悠羽  
 札幌市上白石小 4年 花輪 碧泉  
 室蘭市蘭北小 5年 工藤 維華  
 札幌市新川小 5年 小笠原和輝

登別市幌別東小 5年 成澤結紀乃  
 札幌市上白石小 5年 濱上 真帆  
 札幌市上白石小 5年 大森 愛莉  
 札幌市上白石小 5年 舟津 碧人  
 札幌市上白石小 5年 工藤 桃華  
 札幌市上白石小 6年 志田 優太  
 札幌市上白石小 6年 千田 彩乃  
 札幌市上白石小 6年 青山 そら  
 札幌市上白石小 6年 糸川 想羅  
 札幌市上白石小 6年 松坂 水舜  
 函館市立石崎小 6年 山田 美桜

## 奨励賞(中学)

旭川市愛宕中 1年 川村優妃奈  
 旭川市愛宕中 1年 樫野 萌絵  
 旭川市愛宕中 1年 三原 果楓  
 旭川市愛宕中 1年 平澤 萌梨  
 池田町池田中 1年 吉木 皓花  
 札幌市栄町中 1年 本村 歩実  
 札幌市藻岩中 1年 上村 明愛  
 東川町東川中 1年 山口美沙紀  
 札幌市新川西中 1年 小山内優月  
 音更町緑南中 1年 伊藤 沙姫  
 旭川市愛宕中 2年 大田 絢香  
 旭川市愛宕中 2年 西村 咲来  
 札幌市栄町中 2年 丹保 千優



# 第56回 全道研究部長会について

北海道学校図書館協会研究部長 山田 佳子  
(札幌市立上白石小学校 司書教諭)

## ■オンライン会議で開催

今年度2回目となる全道研究部長会は、1月7日に、オンライン会議で行いました。例年であれば、北海道学校図書館研修講座の中で行うところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修講座が休止せざるを得ず、再びZoomで会議を行うことといたしました。(研修講座で開催を予定していた講座の資料は、本協会ホームページにて見ることができます。ぜひご覧ください。)

今回の議題は、開催が今年9月3日、4日(金・土)と迫る全道学校図書館研究大会函館大会についてと支部交流です。

## ■函館大会の成功に向けて

「学びを支え、豊かな心を育む 学校図書館 ～そうだ、図書館へ行こう!～」

初めに函館大会について、開催地である函館支部から説明がありました。開催日程については、大人数が集まる全体会の時間をなるべく短くし、分科会に余裕をもたせる時間帯に変更したこと、セッションの内容についてです。セッションでは、地元で話題となっているTUTAYA書店、シネマアイリスの方に加え、『カレーライス』などで知られる絵本作家・小西英子さんにも来ていただけることになったそうです。幅広い観点から参加者自身の学びを深めることができるセッションになることは間違いありません。

次に、新型コロナウイルス感染が収束していない場合の開催について、話し合われました。今後の準備の日程や予算等の詳細な資料を基に、中止の場合の決定時期と最終決定は道SLAとの協議で行うこととなりました。また、開催された場合でも、児童への感染リスクを抑えるため、公開授業をライブ放送で行う検討もしているとのこと。子どもたちの生き生きとした姿を直接見ながら研修を深めることができればよいのですが、現在の状況では楽観することはできません。状況に合わせてできる限りの準備を進めている函館支部の皆さんへ敬意を表します。さらに、余裕のある予算ではない中でどのように進めるか、工夫を凝らしているそうです。キャラクター「ホンヨンドコウ」の活躍も期待されます。

研究主題については、「学びを支え、豊かな心を育む 学校図書館 ～そうだ、図書館へ行こう!～」に決まりました。副主題に込めた熱い思いを生かして研究を進めていただきたいところです。

## ■支部交流で、情報を共有して

後半は、札幌、函館、空知、苫小牧、帯広、十勝地区高校、釧路の順に、各支部からの報告がありました。概ね活動の中止・縮小が余儀ない中ではありますが、読書感想文コンクールの審査については順調に行われたようです。また、苫小牧支部で団体貸し出し用のセットが追加、帯広市ではコロナ対策の一環で図書予算の増額といった動きもありました。さらに、情報機器の導入が進む中で、どのような活用法があるかといった話題も出ました。思うように活動できない1年ではありましたが、その中でもできることを探し、情報を共有して進めていくことの大切さを感じました。

例年よりも短い時間での研究部長会開催となりましたが、とても充実した内容となりました。これは、果敢に計画を練り大会開催へ準備を進めていただいている函館支部をはじめとする参加者皆さんのおかげです。この熱意をぜひ、函館大会に結び付けていきたいと感じました。

### ■新刊紹介～学校図書館活用に■

『青春の本棚 中高生に寄り添うブックガイド』

高見京子/編著 2020年

全国学校図書館協議会 1,800円+税

司書教諭・学校司書・中高生が執筆するブックガイド

『学校図書館』に3年間連載された「青春の本棚」を再編集。本の魅力とともに生徒の反応がわかり、読書活動のヒントが見つかる。



### 『司書教諭・学校司書のための

学校図書館必携 理論と実践 新訂版』

全国学校図書館協議会/監修 2021.2.1

悠光堂 4,200円+税

新学習指導要領に準拠した内容に情報を更新。  
新たな項目を追加、データを最新なものに更新。



★どちらも支部で取りまとめて発注すると、特別価格で購入できます。

## ■北海道学校図書館研修講座で学び合いたかったこと

### ～「読書指導」「情報活用能力の育成」から伝えたかったこと～

江別市立江別第二小学校 司書教諭 井上 陽子

子どもたちが生き生きする学校図書館とは、どんな図書館だろうか？私は、読みたい本があり、人がいて、つながる、憩いの場である学校図書館を思い浮かべる。そしてその学校図書館で、どんな子が育っていくのかをイメージする。本が大好きで、想像する力に富む、そんな子ども。楽しみながら理解を深め、自ら調べ、そしてまとめ、自分の考えを友達と伝え合う。こうした主体的・対話的な態度は、深い学びへとつながっていく。さらにこうした学びは、生涯にわたって続く素地をつくっていく。

学校図書館法2条「教育課程の展開に寄与する」。つまり、学習センター・情報センターとしての学校図書館。「児童又は生徒の健全な教養を育成する」読書センターとしての学校図書館。新学習指導要領に見る学校図書館では、総則3-1-(7)「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童の主体的、自発的な学習活動や読書活動を充実させること」となっている。学校図書館年間活用計画に基づいて学校図書館活動は全教職員力で推進していかなければならない。教育課程の展開に沿っての実践、読み聞かせ、ストーリーリング、ブックトーク、アニメーション、読書感想文、読書感想画、座談会、ビブリオバトル、スタンプラリー、本作り、などの方法で工夫していく。本を読む。新しい世界に触れる。想像力が広がる。自分や作者との対話。知的好奇心が高まる。そのスパイラルで、また本を読む。本は楽しいと感じられる子を育んでいく。

「情報活用能力の育成」では、まず情報活用能力とは、学び方を学ぶ力（情報を使う力、情報リテラシー）であることを確認する。そのうえで情報資源を活用する学びの指導が続く。自ら考え、判断できる子どもを育てることが大切であることは言うまでもない。学習センターとしての学校図書館。資料・情報の活用経験の積み重ねによって、資料や情報を根拠として用いる学び、知識の事実を思考の材料や根拠として用いて深い学びを作っていく。料理の食材と同じである。読む→分析→比較→統合→まとめ・発表→蓄積物。料理の食材は新鮮で豊富・腕がいいとおいしい。だからこそ、使いやすい図書館（NDC<日本十進分類法>）、適切な情報や資料が十分にあり、パスファインダー、いつでも情報資源を提供できるアンテナを司書や司書教諭は持ち、子どもたちの学びをサポートしていくのが大切なのである。

## ■北海道学校図書館研修講座で学び合いたかったこと

### 「管理運営」「図書館活動」から伝えたかったこと

札幌市立もみじの森小学校 教諭 安藤 理恵子

学校図書館研修講座講義「管理・運営、図書館活動」は以下のような内容を予定していました。

#### I. 管理・運営については

1. 学校図書館とは何かについて、1) 学校図書館法と2) 学校図書館の理念から考えました。
2. 学校図書館の機能について1) 読書センター2) 学習センターとして3) 情報センターの3つの側面から、学校図書館に機能について述べる予定でした。
3. 学校図書館の運営については、1) 経営的職務2) 技術的職務3) 奉仕的職務4) 教育的職務に分けて、説明する予定でした。
4. 学校図書館運営にかかわる人の役割については、館長としての学校長、司書教諭、学校司書についてそれぞれの役割を述べ、その連携と、協力、協働の重要性について考えました。

#### II. 図書館活動については

1. 資料・情報の提供について1) 閲覧2) 館外貸出3) リクエストと予約4) 学級文庫について。
2. 情報サービスについては、1) レファレンスサービス2) ブックリスト・パスファインダーの作成と活用について。
3. 図書館行事について、1) 季節の行事2) 学校行事との連携3) PTAや地域との連携行事の観点から、それぞれ考察し、具体例を出そうと考えていました。

その他、委員会活動、展示・掲示、広報活動、教職員への支援、公共図書館との連携などについても述べる予定でした。

#### 参考文献は

学校図書館協議会監修『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携 理論と実践』悠光堂（2015）  
熊谷一之『一步前へ！学校図書館』全国学校図書館協議会（2016）  
堀川照代『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック解説編』悠光堂（2018）  
堀川照代『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック実践編』悠光堂（2019）  
全国学校図書館協議会 雑誌『学校図書館 学校図書館年間活動計画を作成しよう』No.842（2020.12）を参考にしました。特に雑誌『学校図書館』No.842（2020.12）「学校図書館年間活動計画を作成しよう」は大変よい特集だったと思います。

来年度は、無事講座が開催されることを願っています。

## 「コロナ禍で進められた読書感想文コンクール」の活動

「表彰式の実施は難しいかもしれない——。」

ニュースや新聞で新型コロナウイルス感染拡大が報じられたこの1年は、本協会の活動にも大きな影響を及ぼしました。例年であれば、5月の総会でコンクール事業についての説明や報告を行う場面がありますが、この状況下では周知することができず、全道各地の生徒の皆さんや先生方には十分に伝わらなかったことと思います。

多くの学校で、夏休みが短縮される中、読書や感想文を書く時間を確保することは難しいのではないだろうか、応募数が大幅に減ることになるかもしれない、と心配していました。しかし、蓋を開けてみると全道各地から例年と変わらないほどの力作が集まり、10月の審査会で安堵したことを覚えています。校内審査、各支部の審査等を経て最終的には、全道から632点の優れた作品が出揃い、質量ともに申し分なく、あとは表彰式という晴れの舞台が整えばという状況でした。本事務局では、なんとか表彰式実施の方向で最後まで調整しましたが、コロナ禍の状況を鑑み、受賞された生徒さんや保護者の皆様の安心・安全を最優先に考えると、中止の判断をせざるを得ませんでした。ホテルでの表彰式を楽しみにされていた方も多かったでしょう。毎年のように家族で足を運び、ステージ上で記念写真を撮られる方もいます。北海道知事様をはじめ、来賓の方も多ことから、本コンクールの歴史と重みを感じながら、緊張した面持ちで表彰される生徒の皆さんを側で見守ることが出来なかったことは、運営者としても残念でした。

表彰式前日に、受賞された皆さんの賞状や楯を事務局の手で整え、発送でお届けするという形をとりましたが、無事に届いていれば幸いです。今年こそは、全道各地の皆さんと表彰式という晴れの舞台でお会いできることを願うばかりです。

(文責：北海道学校図書館協会事業部部长 北海道北広島西高等学校 教諭 図師広光)

---

## コロナ禍の中で模索し続けた今年度の道SLAの活動を振り返って

今年度の運営は新型コロナウイルスと共に歩んできたように思います。個人的には事務局長として経験値が低いことから、会員の皆様にひたすらご迷惑をかけないようにと願うばかりでした。通常と違う運営を余儀なくされたことにより、ご迷惑をおかけする回数が減っていたとしたら幸いです。振り返ると、コロナ禍は必ずしもマイナスの作用ばかりではなく、業務の効率化やリスクの低減の観点から持続可能な活動の見直しを図る起点ともなりました。

仕事始めの昨年の4月、コロナに対する予防策や感染拡大の先行きが今以上に見えない中、総会の準備を細々と行いました。遠距離の移動や大人数での集まりは無理との判断の下、総会は紙上提案、70周年記念事業は1年延期となりました。コロナの状況下のメリットとしては、人の移動が制限される分、移動する時間や労力を低減できることであり、デメリットとしては、最善策への思索と提案づくり、対象に伝えるプロセスに労力が必要なことです。また、作業人数が制限されるため、一人当たりの作業量が増えてしまうこともあります。

中止せざるを得ない活動もありますが、多くは規模の縮小や工夫により適切に実施できたのは、渡部会長の先見と英断、事務局員の英知と協力があってからこそと改めて考えるところです。また、事務局各部の知見により柔軟に対応できたおかげで各部の活動が続けられました。中学生作文コンクールや感想文コンクールの審査は3密を避け時間を短縮し、読書感想文コンクール事業は審査を2部制にして行いました。表彰式も2部制にして式場の座席間隔を空け人数制限を行う計画で臨みましたが、「札幌市を対象とした集中対策期間延長」となり、中止の判断に至りました。この後、出賞者、各関係者、道内各学校への中止連絡と賞状等の発送作業を速やかに行いました。保護者の方々からは、「このような素晴らしい賞をいただけて親子共々授賞式を楽しみにしておりました。」「今回の受賞は、頑張っていれば見てくれる人がいるのだと大きな励みになりました。」「表彰式開催までの計画や準備を思いますと、胸が痛みました。本当に、未来ある子どもたちに日々ご尽力いただきまして、ありがとうございます。」など、あたたかいメッセージを多数いただき、こちらが励まされ胸が熱くなりました。1月の研修講座は早い時期から1日日程で行う計画で準備していましたが残念ながら中止としました。全道研究部長会は2回ともオンラインでの開催とし、初めてのことでいえバターの選択だったと思います。選定部は市内の感染状況に合わせて、ストップ&ゴーで感染対策に気を付けながら良書選定の作業を行っています。

この1年は、運営方法を見直すと同時に、人と人が出会う営みの大切さを改めて考えさせられました。今後もプランB、Cを準備しながら柔軟に運営に当たる所存です。

(文責：北海道学校図書館協会事務局 札幌市立西岡南小学校 校長 佐藤正行)

# 2020年度 北海道の先生がおすすめする本 北海道指定図書

## 小学校低学年の部



### きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる

かさい まり / 文 星野 イクミ / 絵  
アリス館 定価1,500円+税  
サンは、ティラノサウルスに追われて海の中へ。そして化石になった。北海道で発見されたカムイサウルスがモデルの絵本。



### とんでいった ふうせんは

ジェシー・オリベロス / 文 ダナ・ウルエコッテ / 絵  
落合 恵子 / 訳 絵本塾出版 定価1,500円+税  
おじいちゃんの手を離れて、次々に飛んでいった記憶という風船。認知症をテーマに家族の絆と愛情を描いた絵本。



### おおゆき

最上一平 / 作 加藤 休ミ / 絵  
鈴木出版 定価1,400円+税  
大雪で動けなくなった車がなんと1000台渋滞でトイレには行けないし、おなかがすくし…。雪国の助け合いの物語。



### キリンのあかちゃんが うまれた日

志茂田 景樹 / 文 木島 誠悟 / 絵  
ポプラ社 定価1,500円+税  
[きたのどうぶつえん]のつがいのキリン、スカイとコハネ。コハネに赤ちゃんができて、お父さんになるスカイはドキドキ…。

## 中学校の部



### 恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ

小林 快次 / 著  
新潮社 定価1,450円+税  
[見つけたぞ!!]北海道発の新種恐竜カムイサウルス、謎だらけのデイクネイスはこう発掘された。北大教授が語る探検記。



### リスタート

ゴードン・コーマン / 著 千葉 茂樹 / 訳  
あすなる書房 定価1,600円+税  
13歳の少年が記憶喪失になった。自分は、以前かなりのワルだったことを知る。少年が自分の過去と闘っていく物語。

## 小学校中学年の部



### 北国からの動物記 クマゲラ

竹田津 実 / 文・写真  
アリス館 定価1,400円+税  
大型のキツツキ、クマゲラは、ドドドという音で木を掘り、ひそむ虫を探します。体のふしぎや子育て、森の恵みも紹介。



### 手と手をぎゅつとにぎったら

横田 明子 / 作 くすはら 順子 / 絵  
佼成出版社 定価1,300円+税  
それぞれの子が持つ個性に対する理解を深め、障害者や健常者という枠を超え、友情を育む心の交流を描いた作品。



### ポリぶくろ、1まい、すてた

ミランダ・ポール / 文 エリザベス・ズーン / 絵  
藤田 千枝 / 訳 さ・え・ら書房 定価1,500円+税  
いま世界に広がっているプラスチックごみ問題。20年前、ポリ袋のリサイクルをはじめて女性の笑顔を元にした絵本。

## 小学校高学年の部



### 読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った本間一夫

金治 直美 / 文  
佼成出版社 定価1,500円+税  
5歳で失明した本間一夫さん。本の朗読を聞くのが大好きだった彼が、国内最大の点字図書館を創立するまでを描きます。



### いつか、太陽の船

村中 季衣 / 作 こしだ ミカ / 絵  
新日本出版社 定価1,500円+税  
宮城県仙沼で大地震にあった海翔は、造船業を営む両親と北海道の根室に移住した。根室はサンマの街だった。



### 風を切って走りたい! 夢をかなえるパリアフリー自転車

高橋 うらら / 著  
金の星社 定価1,400円+税  
自転車に乗りたいと願う体の不自由な人のために、多くの自転車を作り続けた堀田健一さんを描いた感動のノンフィクション。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。  
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

●ホームページ

北海道学校図書館協会

検索

第66回 青少年読書感想文全道コンクール 第46回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

■後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

北海道の本を読みましょう!

## 学校図書館情報

### ■2021年度北海道学校図書館協会 定期総会について

- ・日時 2021年5月8日(土)
- ・場所 かでる27

※新型コロナウイルスの感染状況により、昨年同様に紙面提案の可能性がります。

現時点で日程と場所を設定していますが、現在のような状況では開催は難しいと考えます。事態が改善することを願いますが、3月末に最終判断を行い4月上旬には開催方法をお知らせする予定です。

不確定なお知らせで申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ■第53回北海道学校図書館研修講座について

皆様と同じ空間で研修を深める機会を逸してしまい大変残念でした。せめて講座のエッセンスだけでもお伝えし今後の学校図書館の活用に役立ててほしいという願いから、講師の方々がHP用に資料を作成してくださいました。是非ご覧ください。

- ・「管理・運営」「図書館活動」  
札幌市立もみじの森小学校 司書教諭 安藤理恵子
- ・「読書指導」「情報活用能力の育成」  
江別市立江別第二小学校 司書教諭 井上 陽子
- ・「情報源を上手に使うには」  
北海道学校図書館協会研究部 新田 裕子
- ・「楽しく進める情報活用能力の育成」  
全国学校図書館協議会スーパーバイザー 佐藤 敬子
- ・「ステップアップ・読書アニメーション」  
札幌市立栄小学校司書教諭 佐藤 広也

### ■第44回北海道学校図書館研究大会函館大会

開催のお知らせ

- ・日時 2021年9月3日(金)・4日(土)
- 【1日目】開会式、保育・授業公開、分科会
- 【2日目】セッション、記念講演、閉会式
- ・会場 函館市立大森浜小学校、函館市中央図書館  
函館市立巴中学校、遺愛女子中学校・高等学校
- ・テーマ「学びを支え、豊かな心を育む 学校図書館」  
～そうだ、図書館へ行こう！～
- ・記念講演 講師 谷村 志穂 氏
- ・参加費 5,000円(予定)

活動が制限される日々の中で、大会運営事務局の皆様が様々な場合を想定しながら、大会実現に向けて懸命に準備をされています。大会に参加すること以外にも、何か協力できることが出てくるかもしれません。そのときは、気持ちよく応援しましょう。

### ■全国学校図書館協議会：各県SLA事務局長会議

例年2月上旬に東京の学校図書館センター(公益社団法人全国学校図書館協議会事務局)にて開催される標記の会議は、感染防止措置により中止となりました。

## 事務局

事務局長 佐藤 正行(札幌市立西岡南小学校長)  
事務局校 札幌市立西岡南小学校  
〒062-0034 札幌市豊平区西岡4条12丁目7-1  
TEL 011-582-6350 FAX 011-582-1590

# Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

## キハラ株式会社

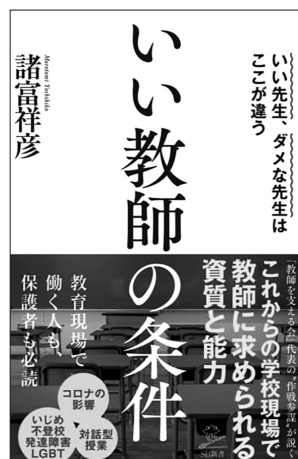
〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15  
TEL (011) 857-3331  
FAX (011) 857-5211

### ◆新刊紹介

## 『いい教師の条件』

諸富 祥彦 著 2020年10月7日初版  
ISBN 978-4-8156-0433-1 SB新書 900円+税

現役教師の親が、わが子が教師になることに反対する時代である。「教師を支える会」を主宰する著者は、教師の大変さを痛感する一方で、「教師ほど魂を打ち込める感動的な仕事はない」と断言する。では、何が過酷で、何が感動的なのか？教師が置かれているリアルな現実を1～5章の構成の中で、いじめや不登校、保護者との関係づくりを説いていく。最終章では、今どういう力をもった教師が必要とされているのか？『『できる教師』に必要な6つの資質』を紹介。教育現場で働く人も、子どもを学校に通わせる保護者も必読の一冊。



## 編集後記

毎年1月に行っている研修講座を、1日程にして準備万端に計画していましたが、札幌市との人の出入りを自粛する集中対策期間に被ってしまいやむなく中止となりました。皆様とお会いし、共に学ぶ機会がなくなってしまったことが大変残念でなりません。再会を期し、丑(種子が土の中で目を出す状態)のごとく読書で栄養を蓄えておきましょう。

(編集：村山 知成 杉本 操 野村 邦重)  
大久保雅人 佐藤 正行

ホームページアドレス  
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>